

# ワンタッチ物干しポール

TMH-2


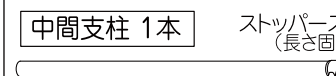
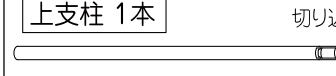
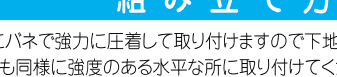
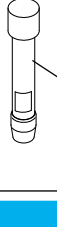

組み立て、ご使用に際しましては下記の説明書をよくお読みください。また、説明書が必要な時、確認できるように保管してください。

## 取り扱い説明書

- 取り付け寸法(約):高さ210cm~280cm
- ハンガーの長さ(約):39cm(ハンガー1本当たりハンガー穴 11個+フック付き)
- 総耐荷重:10kgまで(ハンガー1本当たり5kg×2本)

### 部品一覧

※組み立て前に部品が揃っているか確認し、セットにして並べておくと組み立て易くなります。

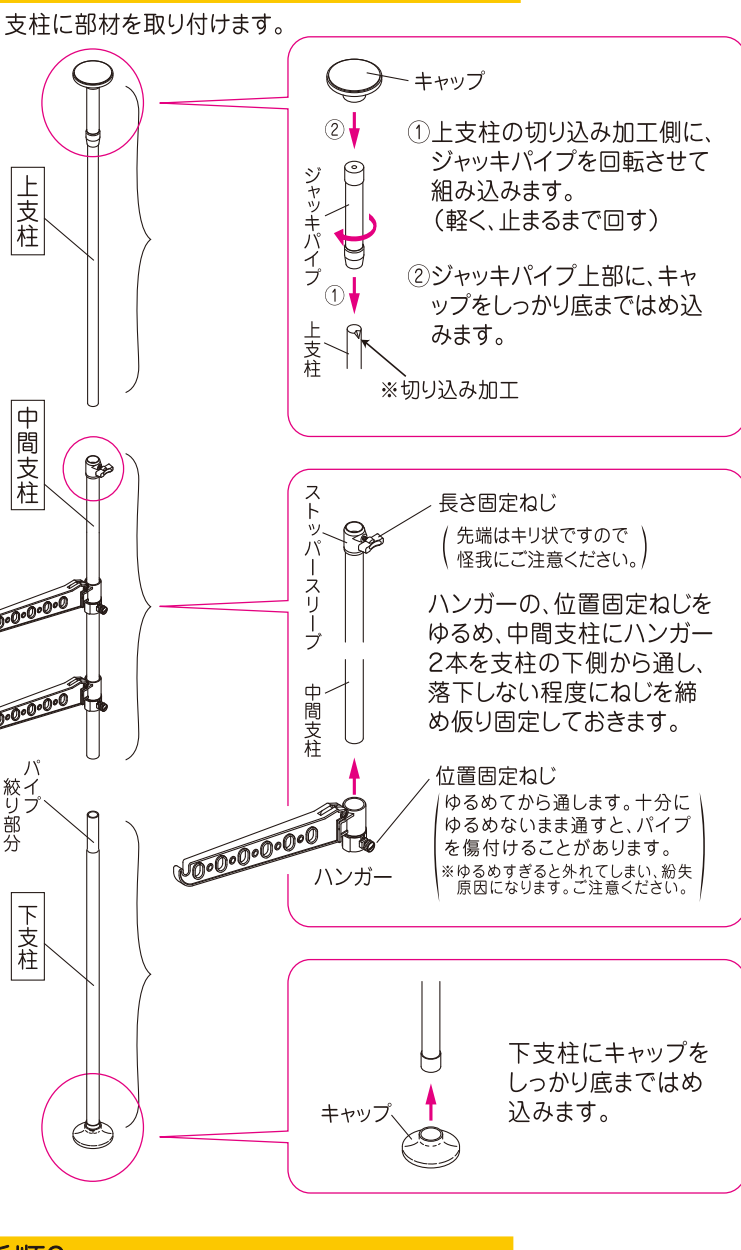
ハンガー 2本  ハンガー受け ハンガーアーム 固定リング 位置固定ねじ	キャップ付き 下支柱 1本  中間支柱 1本  ストッパースリーブ付き(長さ固定ねじ付き) 上支柱 1本  切り込み加工	ジャッキパイプ 1本  バネ内蔵	キャップ 2個 
--	---	--	--

### 組み立て方法

- 本製品は、支柱を天井と床にバネで強力に圧着して取り付けますので下地のしっかりした水平な所(コンクリートや梁(横桟)等)に取り付けてください。床面も同様に強度のある水平な所に取り付けてください。
- 本製品は室内専用です。
- 本製品は衣類やタオルなどの物干しとしての用途以外には使用しないでください。
- 直射日光の当たる所、屋外や浴室、水の掛かる所、湿度の高い所に設置しないでください。(変形、変色、サビの原因になります。)
- 燃焼器具、発熱器具などの火気のそば、危険物、貴重品、破損の恐れのあるもの、常時人がいるそばでは使用しないでください。(発火や破損、ケガの原因になります。)
- 長さ固定ねじは根元までしっかり締め付けてください。
- 組み立ての際、本体を横にして作業を行うと、組み立て易くなります。(床にキズが付かないよう注意してください。)
- 取り付け場所の高さが210cm~280cmの範囲であることを確認してください。
- 石膏ボードなど柔らかい(弱い)所では破損する恐れがありますので、必ず桟のある所に取り付けるか市販の木板などで補強してください。
- 傾斜した天井面、床面には取り付けしないでください。転倒、落下、破損、ケガの原因になります。
- 和室天井は破損や変形が生じたりしますので取り付けしないでください。カーペットなどの敷物の上に設置しないでください。敷物のスレにより転倒の原因になります。
- 組み立てては十分に広い場所で行い、床や天井にキズを付けないよう注意してください。
- 組み立ての際は手や指などを傷つけないよう十分注意してください。パイプ端部に直接手を触れないでください。
- 分解や改造はしないでください。
- 長さ固定ねじの先端はキリ状になっているので、ケガをしないよう十分注意してください。
- 支柱は必ず垂直に取り付けてください。

### 手順1

支柱に部品を取り付けます。



① 上支柱の切り込み加工側に、ジャッキパイプを回転させて組み込みます。(軽く、止まるまで回す)

② ジャッキパイプ上部に、キャップをしっかりと底まではめ込みます。

※切り込み加工

長さ固定ねじ(先端はキリ状ですので、怪我にご注意ください。)

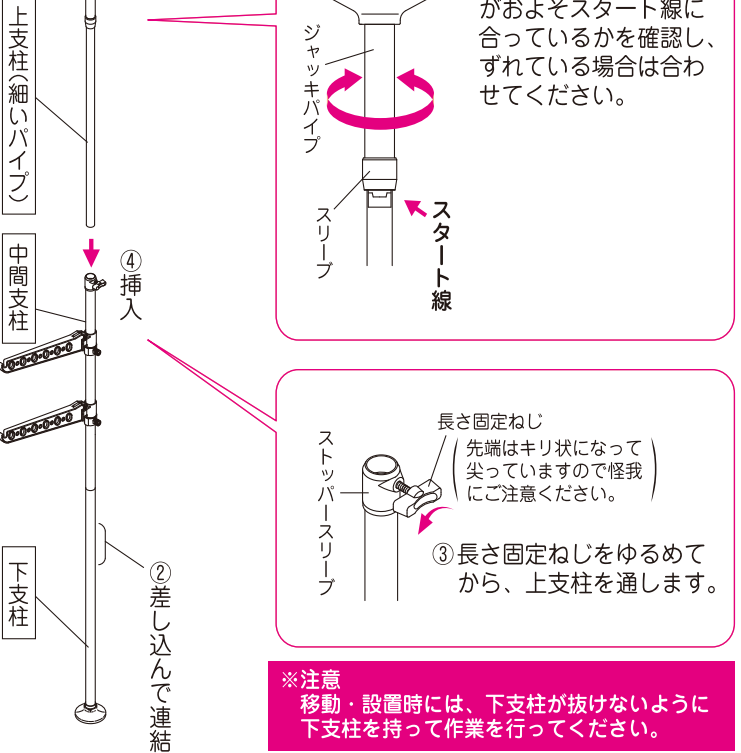
ハンガーの、位置固定ねじをゆるめ、中間支柱にハンガー2本を支柱の下側から通し、落下しない程度にねじを締め作り固定しておきます。

位置固定ねじ(ゆるめてから通します。十分にゆるめないまま通すと、パイプを傷つけることがあります。※ゆるめすぎると外れてしまい、紛失原因になります。ご注意ください。)

下支柱にキャップをしっかりと底まではめ込みます。

### 手順2

- ① 上支柱のジャッキパイプのスリーブの下端がおよそスタート線位置に合っているか確認し、合っていない場合はジャッキパイプを回転させて合わせてください。(強く回しすぎないこと)
- ※注意 大きすぎたままですと支柱が取り付けできないことがあります。
- ② 中間支柱と下支柱を連結します。(※移動時の抜け落ちにご注意ください)
- ③ ストッパースリーブの長さ固定ねじを上支柱が通るまでゆるめます。(ゆるめ方が不十分ですと、上支柱に傷が付きます)
- ④ 上支柱を中間支柱にゆっくり挿入します。(急激に落下させないように注意してください)



① ジャッキパイプの下端がおよそスタート線に合っているかを確認し、ずれている場合は合わせてください。

ジャッキパイプ  
スリーブ  
スタート線

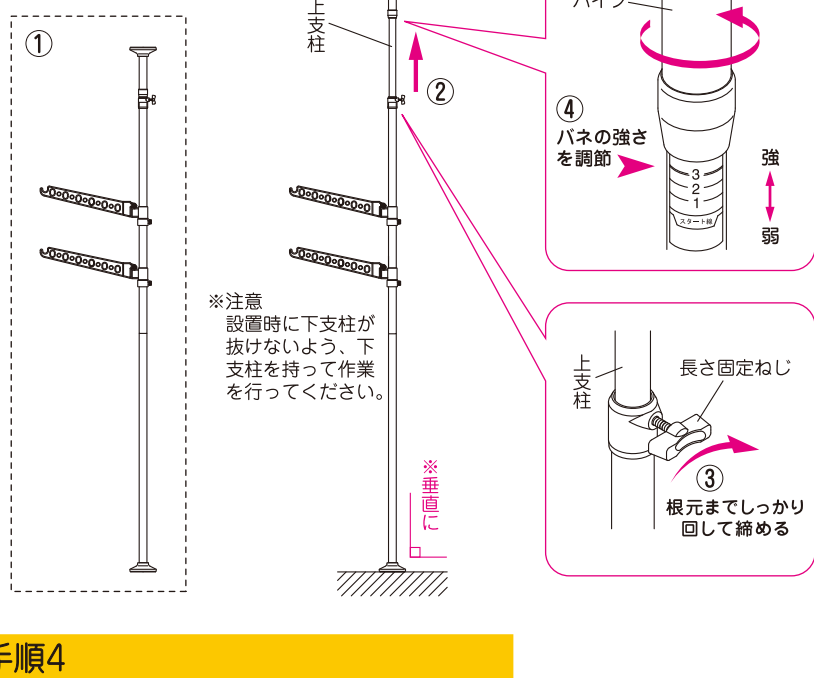
長さ固定ねじ(先端はキリ状になって尖っていますので怪我にご注意ください。)

③ 長さ固定ねじをゆるめてから、上支柱を通します。

※注意 移動時には、下支柱が抜けないように下支柱を持って作業を行ってください。

### 手順3

- ① 組み立てた製品を設置場所へ移動させます。下支柱が抜けないように下支柱を持って移動してください。
- ② 支柱を垂直に立て、上支柱のキャップが天井面にピッタリ当たるまで引き出します。(強く天井へ押し付けけないこと)
- ③ 長さ固定ねじを根元までしっかり回して支柱の長さを固定します。(パイプに穴があき、長さが固定されます)
- ※長さ固定ねじの締め付けが不十分ですと、支柱を圧着固定する際に十分な圧着力が得られず、転倒の原因になります。
- ④ 次に、いったん支柱を取り外し、ジャッキパイプを回してバネの強さを調節します。
- ※ストップ線を越えない範囲で調節してください。
- ⑤ シール表示の3~4の間を目安にジャッキパイプ下端を合わせます。(4が最大バネ圧着力となります)
- ※取り付け状態より、この④の手順をくり返し、適正な圧着力になるよう加減してください。



④ バネの強さを調節

強 ↑  
弱 ↓

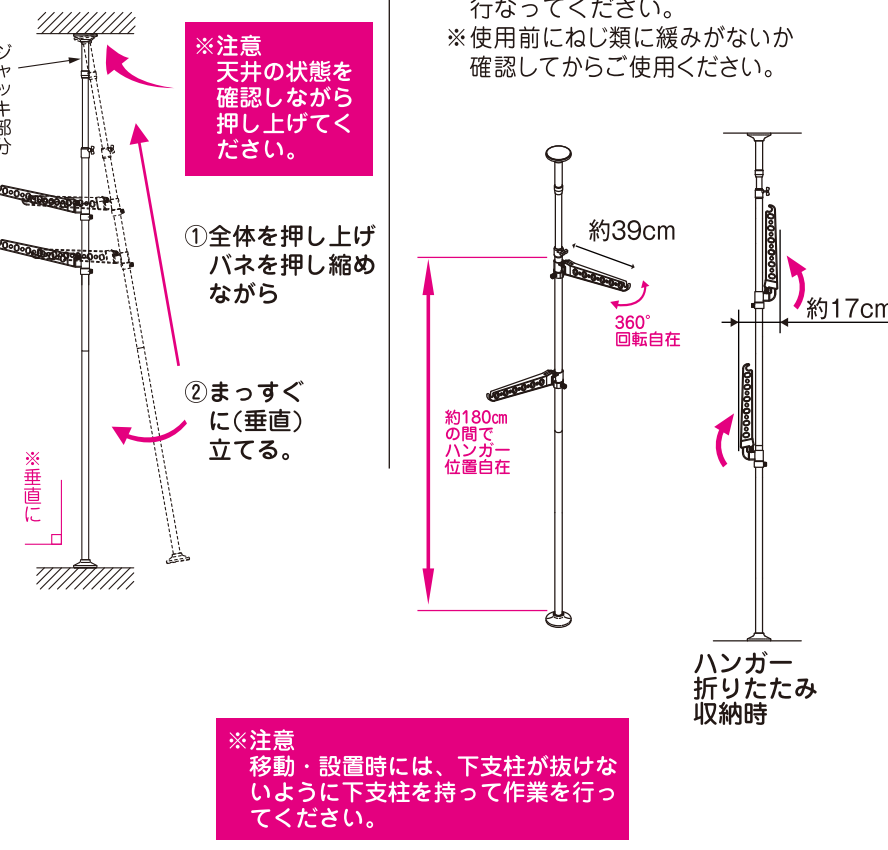
③ 根元までしっかり回して締める

※注意 設置時に下支柱が抜けないように、下支柱を持って作業を行ってください。

※垂直に

### 手順4

- ① 下図のようにジャッキ部分を押し上げ、バネを押し縮めながら
- ② 支柱をまっすぐ(垂直)にたてます。
- ③ 支柱を引っ張り、しっかり固定されているか確認してください。



※注意 天井の状態を確認しながら押し上げてください。

① 全体を押し上げバネを押し縮めながら

② まっすぐに(垂直)立てる。

※垂直に

約39cm  
360°回転自在

約180cmの間でハンガー位置自在

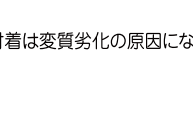
約17cm

ハンガーたたみ収納時

※注意 移動・設置時には、下支柱が抜けないように下支柱を持って作業を行ってください。

### △使用上の注意事項

- 荷重は急激に掛けないでください。
- ハンガーアームに荷重を掛ける際は、1箇所の集中させず、均等にバランスよく掛けてください。特にハンガーアーム先端付近に集中して掛けないでください。(先端付近に集中して掛ける場合の耐荷重は3kg以下になります。)平均的に荷重を掛けた場合は1本当たりの耐荷重は5kgまで、全体で10kgまでです。(耐荷重は平均的に荷重を掛けた測定値であり、保証値ではありません。)
- ハンガーアーム2本の向きは同じ方向にならないようにしてください。同じ方向に集中的に荷重を掛けると荷重バランスが悪くなり製品が転倒する恐れがありますので注意してください。
- 製品を本来の用途以外に使用しないでください。
- 直射日光の当たる所、高温となる所、浴室などの湿度の高い所、水のかかる所では使用しないでください。(劣化や錆の原因になります)
- 本製品は屋内用です。
- 表示寸法の範囲内で使用してください。
- 表示耐荷重以内で使用してください。
- 耐荷重は壁面の強度・状態により弱まる場合があります。
- 燃焼器具や発熱器具などの火気のそばでは使用しないでください。また常時人がいるそばでは使用しないでください。
- 製品の構造上、多少のがたつきことがあります。また力を加えると多少の揺れを生じますが、通常使用には差し支えありません。
- 支柱やハンガーアームにもたれ掛かったり、引っ張ったり、ゆすったり、ぶらさがったり、登ったりしないでください。(ケガや破損の原因になります。)
- 使用中にハンガーアームの向きを変える際、重さによって支柱と一緒に回ることがあります。その際は支柱の適正圧着力が落ちたり(変化)しますので、必ず支柱と一緒に手で押さえながらハンガーアームの向きを変えてください。
- 移動時は必ず掛けている物をすべて取り除き、下支柱を持って移動させてください。
- ねじ類は根元までしっかりと締め付けてください。また使用しているうちにねじが緩むことがありますので定期的に点検し(1週間に1回程度)、緩いときは締め直してください。
- 長期使用や使用環境により樹脂にひび割れや劣化が現れた場合は、危険ですので直ちに使用を中止してください。また、使用中に異常な環境により、発見した場合も直ちに使用を中止してください。
- 特性上、樹脂は劣化・変色する場合があります。
- 使用しないときは、ハンガーアームは必ず折りたたんでください。
- 汚れは濡れた中性洗剤を含ませた布で拭いた後、洗剤分が残らないように拭き取り、乾いた布で拭き取ってください。中性洗剤以外は使用しないでください。たわし・磨き粉で磨くとキズが付きます。
- 消臭剤、芳香剤、整髪料、酸性またはアルカリ性洗剤、油剤、またベンジン、シンナーなど有機溶剤の付着は変質劣化の原因になります。



材質表示

パイプ	…鉄製・エポキシ樹脂粉体塗装
バネ	…バネ鋼・メッキ仕上げ
樹脂部品	…ABS・PP・PE・合成ゴム
ねじ類	…鉄製・メッキ仕上げ

**HEIAN** 平安伸銅工業株式会社  
**SHINDO** TEL 06-6228-8986  
 9:30-17:00(土・日・祝日除く)  
[www.heianshindo.co.jp](http://www.heianshindo.co.jp)